

2019年度（2020年3月期） 第3四半期 決算補足説明資料

2020年2月4日

阪急阪神ホールディングス株式会社

9042 <http://www.hankyu-hanshin.co.jp/>

連結損益比較表 (サマリー)

	2019年度3Q末	2018年度末	比較増減
連結子会社	93社	94社	△1社
持分法適用関連会社	11社	11社	-
合計	104社	105社	△1社

増加：2社
減少：3社

前年同期の自然災害の影響 (※)

(単位：百万円)

	2019年度 3Q累計	2018年度 3Q累計	比較増減	増減率	主な増減要因
営業収益	583,678	576,457	+7,220	+1.3%	
営業利益	91,015	92,206	△1,191	△1.3%	次ページ参照
営業外収益	8,597	7,956	+640		持分法による投資利益 +968
営業外費用	9,577	9,415	+162		
経常利益	90,034	90,748	△713	△0.8%	
特別利益	1,153	3,774	△2,621		固定資産売却益 △2,379
特別損失	1,302	4,193	△2,891		固定資産除却損 △1,457
親会社株主に帰属する 四半期純利益	58,968	58,782	+186	+0.3%	
(参考)					
減価償却費	41,580	39,902	+1,678		
金融収支 (A) - (B)	△5,623	△5,930	+307		
受取利息及び配当金 (A)	1,369	1,341	+28		
支払利息 (B)	6,992	7,272	△279		

※大阪府北部地震、平成30年7月豪雨、台風21号、北海道胆振東部地震（旅行事業のみ）、台風24号による影響

セグメント別営業成績（サマリー）

【当期業績のポイント】

不動産事業においてマンション分譲戸数が前年同期を大幅に上回ったことや、情報・通信事業において情報サービス事業の受注が増加したこと等により増収となったものの、営業利益は、不動産事業において前年同期に彩都東部地区（大阪府茨木市）の施設用地を売却した反動があったこと等により減益

（単位：百万円）

	都市交通	不動産	エンタテインメント	情報・通信	旅行	国際輸送	ホテル	その他	調整額	連結
営業収益										
2019年度3Q累計	174,813	175,498	62,028	39,935	30,700	57,426	48,711	25,046	△30,482	583,678
2018年度3Q累計	177,768	162,426	59,524	33,721	27,441	68,278	49,281	27,477	△29,462	576,457
比較増減	△2,955	+13,072	+2,504	+6,213	+3,259	△10,851	△569	△2,431	△1,020	+7,220
営業利益										
2019年度3Q累計	36,197	32,713	15,171	3,292	4,536	△255	417	1,125	△2,183	91,015
2018年度3Q累計	35,302	36,189	13,765	2,416	2,223	2,146	1,362	1,424	△2,624	92,206
比較増減	+895	△3,476	+1,405	+876	+2,312	△2,402	△945	△298	+441	△1,191

※ 2019年度1Qより、従来「エンタテインメント・コミュニケーション」セグメントに含まれていたコミュニケーションメディア事業を、一層の事業競争力の強化等を目的として、情報・通信事業に改称のうえ、「情報・通信」セグメントに独立させるとともに、従前の「エンタテインメント・コミュニケーション」セグメントの名称を、「エンタテインメント」セグメントに変更しています。

これにより、当社グループの報告セグメントは、従前の「都市交通」、「不動産」、「エンタテインメント・コミュニケーション」、「旅行」、「国際輸送」及び「ホテル」の6区分から、「都市交通」、「不動産」、「エンタテインメント」、「情報・通信」、「旅行」、「国際輸送」及び「ホテル」の7区分に変更されています。

なお、比較期である2018年度3Q累計のセグメント情報は、変更後の報告セグメントの区分に基づき作成しています。

都市交通セグメント

コンビニエンスストア事業及び駅売店事業の外部化（2019年8月）による影響
営業収益 △56億円

営業収益は、コンビニエンスストア事業及び駅売店事業を外部化した影響等により減収。営業利益は、鉄道事業において減価償却費等の諸費用が増加したものの、阪急線・阪神線が堅調に推移したことに加えて、前年同期の自然災害の影響から回復したこと等もあり増益

	2019年度3Q累計	2018年度3Q累計	比較増減	増減率
営業収益	174,813	177,768	△2,955	△1.7%
営業利益	36,197	35,302	+895	+2.5%

(単位：百万円)

不動産セグメント

マンション分譲戸数が前年同期を大幅に上回ったこと等により増収となったものの、営業利益は前年同期に彩都東部地区（大阪府茨木市）の施設用地を売却した反動があったこと等により減益

【参考】マンション分譲戸数[当社グループの持分戸数]：+793戸（前年同期 515戸 → 当期 1,308戸）

	2019年度3Q累計	2018年度3Q累計	比較増減	増減率
営業収益	175,498	162,426	+13,072	+8.0%
営業利益	32,713	36,189	△3,476	△9.6%

(単位：百万円)

《都市交通》 鉄道運輸成績

《阪急電鉄》

	収入				人員			
	2019年度3Q累計 百万円	2018年度3Q累計 百万円	比較増減 百万円	増減率 %	2019年度3Q累計 千人	2018年度3Q累計 千人	比較増減 千人	増減率 %
定期外	48,173	47,225	+947	+2.0	241,722	239,023	+2,699	+1.1
定期	26,037	25,327	+710	+2.8	266,420	258,505	+7,914	+3.1
うち通勤	22,355	21,729	+625	+2.9	184,073	178,416	+5,657	+3.2
うち通学	3,682	3,598	+84	+2.4	82,347	80,089	+2,257	+2.8
合計	74,211	72,553	+1,658	+2.3	508,142	497,528	+10,614	+2.1

消費税率引上げの影響 +3億円

自然災害の影響 △6億円

《阪神電気鉄道》

	収入				人員			
	2019年度3Q累計 百万円	2018年度3Q累計 百万円	比較増減 百万円	増減率 %	2019年度3Q累計 千人	2018年度3Q累計 千人	比較増減 千人	増減率 %
定期外	17,073	16,672	+400	+2.4	92,971	91,490	+1,480	+1.6
定期	9,372	9,067	+304	+3.4	97,736	94,399	+3,336	+3.5
うち通勤	8,367	8,093	+274	+3.4	76,491	73,844	+2,646	+3.6
うち通学	1,004	974	+29	+3.1	21,245	20,555	+689	+3.4
合計	26,445	25,740	+704	+2.7	190,707	185,890	+4,817	+2.6

消費税率引上げの影響 +1億円

自然災害の影響 △1億円

- (注) 1. 収入は百万円未満、人員は千人未満をそれぞれ切り捨てて表示しています。
2. 阪急電鉄の定期外収入・人員には、PiTaPa区間指定割引運賃適用の収入・人員を含んでいます。
3. 阪急電鉄・阪神電気鉄道ともに、第1種鉄道事業及び第2種鉄道事業の合計です。

エンタテインメントセグメント

ステージ事業において歌劇事業の各公演が好評を博したことや、歌劇関連商品の販売が好調であったことに加え、スポーツ事業も好調に推移したこと等により、増収・増益

	(単位：百万円)			
	2019年度3Q累計	2018年度3Q累計	比較増減	増減率
営業収益	62,028	59,524	+ 2,504	+ 4.2%
営業利益	15,171	13,765	+ 1,405	+ 10.2%

情報・通信セグメント

情報サービス事業において交通システム分野で大型案件を受注したことや、放送・通信事業においてインターネットサービスの加入者が増加したこと等により、増収・増益

	(単位：百万円)			
	2019年度3Q累計	2018年度3Q累計	比較増減	増減率
営業収益	39,935	33,721	+ 6,213	+ 18.4%
営業利益	3,292	2,416	+ 876	+ 36.3%

旅行セグメント

当期のゴールデンウィークが大型連休となったこと等もあり、海外旅行がヨーロッパ方面をはじめ好調に推移し、また国内旅行においても集客が増加したこと等により、増収・増益

(単位：百万円)

	2019年度3Q累計	2018年度3Q累計	比較増減	増減率
営業収益	30,700	27,441	+3,259	+11.9%
営業利益	4,536	2,223	+2,312	+104.0%

国際輸送セグメント

米中貿易摩擦の影響等を受け、日本や東アジアを中心に航空輸送の取扱が減少したこと等により、減収・減益

(単位：百万円)

	2019年度3Q累計	2018年度3Q累計	比較増減	増減率
営業収益	57,426	68,278	△10,851	△15.9%
営業利益	△255	2,146	△2,402	—

ホテルセグメント

レム東京橋：2019年4月3日開業
ホテル阪神アネックス大阪：2019年5月15日開業
ホテル阪急レスパイア大阪：2019年11月27日開業
レムプラス銀座：2019年12月24日開業

飲食事業を外部化した影響
営業収益 △27億円

営業収益は、新規ホテルの開業による増収や、前年同期の自然災害の影響からの回復はあったものの、飲食事業を外部化した影響等により減収。営業利益は、新規ホテルの開業に伴い諸費用が増加したことや、近畿圏のホテル市況が厳しく、宿泊部門が低調に推移したこと等により減益

(単位：百万円)

	2019年度3Q累計	2018年度3Q累計	比較増減	増減率
営業収益	48,711	49,281	△569	△1.2%
営業利益	417	1,362	△945	△69.3%

連結貸借対照表

(単位：百万円)

		2019年度3Q末	2018年度末	比較増減	主な増減要因																												
資産の部	流動資産	277,064	302,963	△25,899	受取手形及び売掛金 △24,786																												
	固定資産	2,210,331	2,163,259	+47,072	長期貸付金 +22,526 投資有価証券 +20,839																												
	資産合計	2,487,396	2,466,223	+21,172																													
負債の部	流動負債	383,867	404,286	△20,418																													
	固定負債	1,149,294	1,146,555	+2,738																													
	負債合計	1,533,162	1,550,842	△17,680																													
<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>2019年度3Q末</th> <th>2018年度末</th> <th>比較増減</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>借入金</td> <td>740,268</td> <td>758,411</td> <td>△18,143</td> </tr> <tr> <td>社債</td> <td>122,000</td> <td>112,000</td> <td>+10,000</td> </tr> <tr> <td>コーポレート・バレンス</td> <td>15,000</td> <td>-</td> <td>+15,000</td> </tr> <tr> <td>リース債務</td> <td>8,306</td> <td>6,644</td> <td>+1,662</td> </tr> <tr> <td>連結有利子負債</td> <td>885,575</td> <td>877,055</td> <td>+8,519</td> </tr> <tr> <td>未払金</td> <td>△24,592</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>							2019年度3Q末	2018年度末	比較増減	借入金	740,268	758,411	△18,143	社債	122,000	112,000	+10,000	コーポレート・バレンス	15,000	-	+15,000	リース債務	8,306	6,644	+1,662	連結有利子負債	885,575	877,055	+8,519	未払金	△24,592		
	2019年度3Q末	2018年度末	比較増減																														
借入金	740,268	758,411	△18,143																														
社債	122,000	112,000	+10,000																														
コーポレート・バレンス	15,000	-	+15,000																														
リース債務	8,306	6,644	+1,662																														
連結有利子負債	885,575	877,055	+8,519																														
未払金	△24,592																																
純資産の部	株主資本	891,063	853,397	+37,666	親会社株主に帰属する四半期純利益 +58,968 支払配当 △11,020 自己株式 △9,810																												
	その他の包括利益累計額	31,771	31,465	+305																													
	非支配株主持分	31,398	30,517	+881																													
	純資産合計	954,234	915,381	+38,853																													
自己資本比率		37.1%	35.9%	+1.2 p																													